

校内（11月）や市内（1月）で毎年行われる「ひたち郷土かるた大会」に出場するための練習をしていくうちに、札に出てくる場所等について詳しく知りたくなりました。実際にその場所に行ったり、関係する方にインタビューしたり、インターネットや本で調べたりして、56枚のすべての札のことを調べました。その中から、特に日立市のよさや自慢できることを紹介します。



<p>「り」の領内一 日の出めでたし 黄門さん</p>		<p>「り」の札の「水戸黄門（徳川光圀）さん」が、1695年に日立地方を訪れ、海から昇る朝日の美しさに感激し、『日の立ち昇るところ領内一』と称えたことから『日立』の地名が付けられたと言われています。元旦の初日の出のスポットは、日立市内に多数あります。</p>	
<p>「も」のモーターで 町発展させた 製作所</p>		<p>「も」の札の「日立製作所」は、1910年に国産初の5馬力モーターを開発し、今では日本最大の総合電機メーカーに成長しました。日立駅前広場には、日立製作所が製作した大型タービン動翼のモニュメントがあり、日立市の発展のシンボルとして建てられました。</p>	
<p>「の」の乗り物や 動物いっぱい かみね公園</p>		<p>「の」の札の「かみね公園」は、県内唯一の動物園と、遊園地、レジャーランドの3つのゾーンがあり、子供から大人まで楽しめる総合公園です。一年中泳げる温水プールやお風呂、サウナなども充実しています。頂上展望台からは、日立市内と太平洋を一望できます。</p>	
<p>「つ」の釣りもよし 泳ぎもできる 日立の海</p>		<p>「つ」の札の「日立の海」には、久慈浜、水木、河原子、会瀬、川尻、伊師浜の6つの海水浴場があります。日立市は県内で最も多くの海水浴場があり、観光客でにぎわいます。また、港などの海岸沿いでは、海釣りを楽しむ人が多く、イシモチやアイナメが釣れます。</p>	
<p>「ま」の満開を ほこる市の花 サクラかな</p>		<p>「ま」の札の「桜」は、日立市の花として1977年に制定されました。平和通りにできる約1kmにわたる桜のトンネルは見事なものです。平和通りやかみね公園は『日本さくら名所100選』に選ばれていますが、ほかにも、十王パノラマ公園や助川城跡公園など、名所がたくさんあります。</p>	
<p>「お」のお祭りや イベントたくさん 新都市広場</p>		<p>「お」の札の「新都市広場」は、日立駅前に広がる近未来的な都市空間として、1990年にオープンしました。9,300m<sup>2</sup>の広さを誇り、水・音・光の演出装置があります。成人式やひたち秋祭りなど多くのイベントや活動が行われたり、日常的な憩いの場としても利用されたりしています。</p>	
<p>「に」の人形の からくり見事な 風流物</p>		<p>「に」の札の「日立風流物」は、日立市に伝わる民族文化財で、200人以上で牽引する巨大な山車と、その上で行われる操り人形芝居をいいます。江戸時代中期頃から伝わり、2009年にはユネスコ無形文化遺産に登録されました。現在は、東町、北町、西町、本町の4台の山車があります。</p>	
<p>「な」の鳴りひびけ 平和の鐘よ いつまでも</p>		<p>「な」の札の「平和の鐘」は、戦後50年になる1995年8月15日に、永久に戦争のない平和な世界の実現を願う日立市民のシンボルとして、日立駅前広場に建てられました。季節によって様々なメロディーが、1日5回奏でられます。（午前8時、午前10時、正午、午後3時、午後6時）</p>	



「ひたち郷土かるた」をめぐる旅を終えての感想  
かるたの札の場所等を調べて分かったことは、日立市は、工業が盛んで、自然に恵まれており、よき伝統を受け継ぎながら現在の日立市へとつながってきているということです。そんな日立市をこれからも愛し、日立市のよさや自慢できることを伝え続けていきたいと思ひます。